

研究会 備 忘 録

6 6

研究グループ	効率性研究グループ	しくみ研究グループ
日 時	平成 20 年 9 月 29 日 (月) 13 : 30 ~ 16 : 00	
会 場	本館 3 階 311・322 会議室	
出 席 者	しくみグループ：岩下、團野、小河、前田、山下、大道、佐藤 効率性グループ：若山、橋本、藤岡、玉井、篠津、黒木、田川 市長、副市長 他 自治経営推進課	
内 容		
テ ー マ	コ メ ン ト	
プレゼンリハーサル及び総評	<p>しくみグループ、効率性グループの順にプレゼンテーション（各 40 分）</p> <p>市長からの総評</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本番で住民からなる 300 人程度の傍聴者全員に理解、共感してもらえよう ようなプレゼンテーションにしてほしい。 ・ 発表方法や内容の工夫などプレゼンに向けて課題を持ち、新しい展開や自分 たちにとってのキーポイントのなどをしっかり主張すべき。 ・ 発表の順番は、効率性 しくみが解りやすいのでは？ ・ 発表のないようにあった「新コミ構想」などの専門用語等に補足説明をした ほうがよい（住民のみなさんが理解しやすいように）。 ・ 当研究において、基礎自治体のパイオニアである責任を持ってください。 自身を持って発表 ・ 道州制・合併に対する自民党と民主党それぞれの見解は違うので、要注目。 ・ 合併に関連して、国はどのくらいの大きさの自治体までが耐えきれる道州制 にしたいのかを注目してみては？ ・ 大野城市のこれからの課題を、市民と共有できれば・・・ <p>副市長からの総評 （しくみグループへ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「行政力アップ」について、現在大野城市が取り組んでいる事例を挙げたが、 道州制に耐えうるための大野城市がすべき具体例など、その延長線上に新た な提案があるとよい。 <p>（効率性グループへ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明内における交付金、補助金の 0% 提案については少し乱暴では？（最低 生活水準を守るために多少はあったほうがよい。あるいはこのようなケース に対する補足説明などでもよいと思う） <p>その他質疑意見</p>	

次回会議の日程 について	9月24日(水)全体会議終了後に開催予定